

平成30年度(2018年度)教育年間計画実施状況

現任教育の目的

精神科看護実践の専門性の向上に必要な知識・技術を学び、また豊かな人間性を養い、「患者個々のニーズに応じた、より質の高い看護」が提供できる看護師を育成する

現任教育の目標

1. 個別性を尊重した看護が展開できる
2. 日向台病院の看護師として、社会人としての自覚を持ち、責任ある行動がとれる
3. 組織の中に一員として立場と役割を認識し、円滑な人間関係がもてる
4. 専門職としての自己研鑽に努め、教育や研究活動に参加する
5. 教育施設としての役割を理解し、後輩・看護学生に適切な指導が出来る

対象者	目的	担当者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	評価の視点		
看護部教育	卒後1年目	1)日向台病院の職員としての意識と自覚を持つことができる 2)知識を学び業務を確実に実施できる 3)精神科の特徴を理解する 4)看護実践における管理的側面を理解・実施する	福本 鶴谷 福島	・新採用者オリ ・看護技術演習 ・プリゼンテーションについて	・傾聴、受容、共感 について eランニング 「医療施設で働く人 のために必要な 倫理」他2題	・看護倫理と接遇 eランニング 「医師施設で働く人 のために必要な 倫理」他2題	・チーム間コミュニ ケーション eランニング 「うちの病院なら これでOK！効率的 に看護記録を書く コツ」	・看護記録について 新人研修 「精神科救急と看護 メンタ eランニング 「身体症状を訴える 患者のアセスメント 外部研修 ・リフレッシュ研修	・フィジカルアセス メント eランニング 「多課題を乗り 切るためのコミュニ ケーションと優先 順位考え方」 その薬物療法」	・多重課題 eランニング 「多課題を乗り 切るためのコミュニ ケーションと優先 順位考え方」 その薬物療法」	・精神科薬物療法 と看護 eランニング 「精神科薬物選薬」 「もう一度見直そう その薬物療法」	・ナラティブ研修 ・ケーススタディ 報告会	・1年間の振り返り ・2年目の準備 eランニング 「看護師資格は 一生運~々を大切に 生きていることの積み重ね」	3月	・出席率 ・レポート提出 ・技術チェック リスト		
	卒後2年目	1)看護実践能力の向上 2)対人関係能力の向上を目指す 3)チームリーダーとしての役割が理解できる 4)精神科領域以外の看護・環境・医療を知ることにより 視野を広げ、それらの経験を精神科看護に役立てる	林 渡邊 岩山		・導入研修 「2年目の目標と 年間計画」 「ケーススタディに ついて」	・プロセスレコード 研修	・リーダーシップに ついて		・精神科作業療法と 他職種連携 「PSWとの連携と 退院支援について」 外部研修(精神科領域外の研修) 10/29~11/2までの5日間(全員)			・ケーススタディ 報告会	・1年間のまとめ 「自己の成長と今後 の課題」		・出席率 ・レポート提出 ・ケーススタディ発表		
	卒後3年目	1)チームリーダーとしての役割を果たすための基礎的な 知識を身につけ、実践することができる 2)教育的な役割を担うための基礎的な知識を 身につけることができる	内田 黒川 大崎		・導入研修 「3年目の目標と 年間計画」「ケース スタディについて」		・コーチングに ついて				後輩指導 ~コーチングを実践 して~		・ケーススタディ 報告会	・1年間のまとめ ・4年目に向けて ポートフォリオと プリゼンテーションについて		・出席率 ・レポート提出 ・ケーススタディ発表	
	卒後4・5年目	1)指導者層としての自覚を持ち、日々の看護や 後輩・学生指導などにリーダーシップを発揮できる	片倉 川口		・導入研修 「中堅看護師の 目標と役割」 「ポートフォリオについて」			・皆で共有しよう、 自己の中堅層として の役割、指導観				・皆で共有しよう、 自己の中堅層の 役割 外部研修	・精神科看護技術 研(2名) 外部研修	・1年間のまとめ ・次年度に向けて の課題		・出席率 ・レポート提出 ・ケーススタディ発表	
	卒後6~10年目 以上	1)中堅層としての目的方向性を意識して問題意識を持ち 日々の業務にのぞみ上司と協力して問題解決や業務の改善に 取り組むことができる 2)社会の変化や医療の進歩に応じた看護が出来る	片倉 川口		・導入研修				・看護教育って どんなことと自分 の看護観を考え てみよう	実習指導者教員 合同研修会(2名) 外部研修		・悩み相談会		・ポートフォリオの 提出 ・ポートフォリオ 提出		・出席率 ・レポート提出 ・ポートフォリオ 提出	
	主任・副主任	1)ス・副主任としての自覚を持ち、看護科長を補佐し 看護部職員および学生の教育ができる	佐藤 古堅							横浜市看護職 認知症対応力 向上研修(2名) 外部研修				看護教育 フォーラム参加 (5名) 外部研修		・出席率	
	看護科長	1)病院ならびに看護部の方針に協力して、各看護単位の 管理を遂行することができる 2)質の高い看護を提供できる看護師を育てることができる	立石				日精看(支部) トビックス研修(5名) 外部研修					DPAT (災害派遣精神医療 チーム)研修(1名) 外部研修		医療協看護部長 食主催研修 (6名) 外部研修		・出席率	
	看護補助者	1)看護補助として必要な知識・技術を習得することができる 2)看護業務が円滑に行われるよう看護師の補助者としての 業務が遂行できる	稲葉 高橋 小笠原		・接遇について		・トミ剤の適正濃度 医療協看護補助者 研修会(2名) 外部研修		・排泄について			・環境(感染)に ついて					・出席率
	看護研究	1)臨床現場での疑問や関心を色々な側面から、科学的に解決 していく過程を養うことができる	高橋 白塚 川原 外部講師	・導入研修	・看護研究相談会 (1回目) eランニング	・看護研究相談会 (2回目)	・看護研究相談会 (計画書について)	・看護研究相談会	・看護研究相談会	日精看(神奈川県) 看護研究発表 (3名) 外部研修				・院内看護研究 報告会 外部研修		・出席率 ・研究発表	
	全体研修	医療事故防止 対策委員会	1)個々の職員の安全に対する意識、安全に業務を遂行する ための技能やチームの一員としての意識の向上等を図るため 医療に係る安全管理のための基本的考え方及び具体的方法 を実施することができる	医療事故対策 帽子委員					針刺し事故研修 外部講師				CVPPP研修				・出席率 ・不参加者テスト
院内感染対策 委員会		1)院内感染対策の基本的な考え方、感染防止の具体的な手法 を周知徹底する 2)職員個々の意識の向上を図るとともに、全体の院内感染 対策を向上させることができる	院内感染 対策委員会				種子衛生 (バームスタンプ) 外部講師					精神科における 感染対策 外部講師				・出席率 ・不参加者テスト	
院内職員全員		日向台病院における、職員の知識・技術の向上	院内教育委 員会 外部講師	診療報酬改定に ついて 外部講師	拘束具の実際 クロザリル導入セミナー 外部講師	薬物療法	バーチャル研修 について 外部講師	個人情報保護研修	医療ガス研修	身体拘束の実際 倫理研修	トミ剤の適正濃度 AED(BLSシュ ミレーション)	排泄ケア	スクリーンケア	今年度外部研修 参加者伝達講習		・出席率 ・不参加者テスト の研修もあり	